

小学生のジオパーク課外授業が行われました



島根大学教育学部理科教育専攻(地学) 博士(理学) 辻本 彰さん



この日の課外授業は午前と午後に行われ、午前中は6年生の2クラス、61人の生徒が参加しました。



千酌海岸洗濯岩のダイナミックな景観を目の前にして講師の話に耳を傾けます。



化石を発見して生徒たちは大よろこびでした。

小学生の課外授業は化石も見つかった大興奮!



ご存知ですか、ジオブランド商品

鷺浦沖合の海水を昔ながらのやり方で製塩。地域の活性化に一役買っています。



鷺鷺げんきな会 代表 安部 勇さん



鷺鷺の藻塩

かつて銅の採掘や北前船の往来で栄えた鷺浦・鷺嶋浦。古い佇まいの集落の向こうには静かな入江が広がっています。



鷺鷺コミュニティセンターの一角に製塩工場があります。

国引きジオブランド商品/ジオの恵みをベースにする地元産品のなかでも、伝統文化や環境保全などストーリー性のあるものをジオブランドに認定し、ホームページやジオパークネットワークなどを通じて内外に発信しています。

まるで味が美味しい塩ですね!



編集後記

ジオパーク活動に携わることで、出雲国風土記で神様が陸境を網で引く様子が地球の歴史に似ていることや、溶岩トンネルに希少な生き物が生息していること、出雲国風土記に登場する山や神社の由来など、今まで知らなかった新たな発見がたくさんあります。貴重な地質・地形に加え、生態系、歴史・文化といった人間の営みを丸ごと楽しめるジオパークだからこそ、地域の良さと魅力を改めて実感できます。

発行者：島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会

【松江市役所 文化振興課 ジオパーク推進室】
〒690-8540 島根県松江市末次町 86 番地
TEL：0852-55-5399
E-mail：kunikiki-geopark@city.matsue.lg.jp

【出雲市役所 政策企画課 プロジェクト推進室】
〒693-8530 島根県出雲市今市町 70 番地
TEL：0853-21-6079
E-mail：project@city.izumo.shimane.jp



島根半島・宍道湖中海ジオパーク



日本ジオパークネットワーク



島根半島・宍道湖中海

ジオパーク通信

出雲国風土記の
自然と歴史に出会う大地

協議会会員紹介／出雲科学館／ジオサイト紹介／大根島の溶岩トンネル 1
協議会の活動／ジオパークの日イベント（出雲会場、松江会場） 2
協議会の活動／ジオパーク探検隊（かた島庵）／室戸ジオパーク紹介 3
ジオパーク課外授業／ジオブランド商品・鷺鷺の藻塩（鷺鷺げんきな会） 4

2023.11
Vol.6

協議会会員の紹介 出雲科学館



出雲科学館 館長 鬼村修治さん

見る・触れる・創る、科学の体験ミュージアム
科学する心を育てる体験型ミュージアム「出雲科学館」では、出雲市内の小学3年生～中学3年生を対象とする理科学習(計13単元)において、学校にはない高度な装置や機器・材料を使った独創的な実験や体験学習で学習意欲を高め、楽しく学ぶ機会を提供しています。また、広く一般の方を対象とする生涯学習事業においては、観察・実験・ものづくりなど科学や創作の魅力に触れることができる様々な教室や科学技術に関する企画展、講演会などを行っています。館内には、実験室や創作工房、サイエンスホールのほか、展示体験プラザには、手で触れたり自分で動かしたりしながら科学の基本原則や楽しさ、不思議さを体験できる装置を約40種類設置しており、親子連れの方などに人気です。昨年は開館20周年記念として、分身ロボット「OriHime」の開発者で孤独の解消を研究テーマとする吉藤オリ氏を招き、これからのテクノロジー社会の在り方についての講演会を開催し大きな話題となりました。

ジオパークに関連するものとしては、職員が製作した「島根半島立体地図模型」を常設展示するほか、理科学習では、小学5年生の「流れる水のはたらき」で斐伊川について、中学1年生の「火をふく大地」で三瓶山の噴火と火山噴出物の広がり方について学習内容に盛り込んでいます。また、小中学生対象の子ども科学学園や市内の教員研修では、地質に関するフィールドワークを毎年実施しています。

館長の鬼村さんは「私たちの身近にある素材を学習に取り入れることによって地域への関心が高まれば」と期待し、「ジオパークは科学、歴史文化、暮らし、観光など広がりがあり、それらをつなげることが可能な仕組みです。うまく活用することで地域が盛りあがるよう、私たちも会員としての役割を果たしながらジオパーク活動の発信をしていきたい」と語っていただきました。

開館時間／9:30～17:30 入場無料
休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始

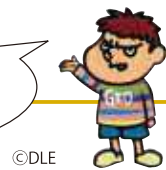
ジオサイト見どころ紹介 シリーズ 6 大根島の溶岩トンネル 竜溪洞 (りゅうけいどう)



出雲国ジオガイドの会 認定ジオガイドの 野津 栄さん

大根島は約20万年前の火山活動で噴出した溶岩(玄武岩)で島全体が形成され、地下では大小無数の洞窟が縦横無尽につながっています。この洞窟が溶岩の流れた道筋です。現在、人が中に立ち入ることができるのは「幽鬼洞*」「竜溪洞」の2か所です。なかでも「竜溪洞」は洞窟の中で火口の様子が確認できる世界的にも希少な洞窟で、入り口を下ってすぐ右手に広がる「神溜り」と呼ばれる円形状の空間奥に火口跡の盛り上がりがあり、そこから流れ出た流動性の高いパホイホイ溶岩が造った特徴的な縄状の模様を確認できます。また足もとの水たまりでは目が退化したものや体色が白いものなど、洞窟の環境に適応した珍しい生き物を観察することもできます。ガイドの野津さんは「偶然が重なり合ってきた世界的にも希少な洞窟です。まだ駆け出しですが、訪れた人たちに楽しかった!と言ってもらえるようなガイドを目指したい」と笑顔で語ってくれました。 ※幽鬼洞は危険なため、学術調査等で松江市が許可した方以外は入洞禁止です。

出雲科学館はさまざまなイベントが行われ気軽に楽しむことができます。



©DLE



出雲科学館外観



展示体験プラザ 2F ギャラリーの一角にジオパークコーナーがあります。



島根半島の地形の様子と各ジオサイトが精巧なジオラマ模型で展示されています。



入口近くの石造りの広場に説明パネルが展示されています。



水たまりに棲息する希少生物を探すのも楽しみのひとつ。



溶岩トンネル内部、神溜りの様子。奥に火口跡が見えます。



ジオパークの日の
イベントを
取材して来たぞ!

協議会の活動 「ジオパークの日」イベントを開催しました

日本ジオパークネットワークは、2009（平成21）年8月22日に、日本に初めて世界ジオパークが誕生したことを記念して、8月22日をジオパークの日としており、本ジオパークで出雲市と松江市を会場にイベントを行いました。

1.出雲会場



オープントップバス

バス車内の様子



フィールドワークの様子



クルージングの様子



理科実験の様子



サザエのカラ積み記録会

2.松江会場

8月20日（日）に松江ビジターセンターで、「桂島謎解きラリー」、「ジオパーク缶バッジづくり」を行い、89人の来場がありました。

缶バッジづくりは、自分が描いた好きな絵を缶バッジにすることができ、子どもたちに楽しんでもらいました。

当日は天気良く、松江ビジターセンターがあるマリンプラザしまねに多くの方が訪れ、「潜戸観光遊覧船」での加賀の潜戸の周遊や「お食事処なぎさ」でのサザエご飯の食事を楽しまれ、ジオパークの名所や食を堪能されていました。



子どもたちに缶バッジづくりが人気でした。

協議会の活動 ジオパーク探検隊

カヤックに乗って
ジオパークの大地を
楽しんできました!



カヤック体験ツアーを開催しました

9月2日（土）と3日（日）に松江市美保関町片江でカヤック体験ツアーを開催し、2日間で8組23人の参加がありました。3人乗りカヤック2艇を使用し、1艇に参加者2人とインストラクター1人が同乗しました。ジオガイドでもあるかたえ庵の青戸さんたちがインストラクターとなり、初めての方でも安心してカヤックに乗れるように沿岸で操作方法や乗り方をレクチャーされた後、片江湾の外海に出発しました。

碧い海が広がる眺望は絶景で、地球が活動した形跡である柱状節理などの特徴的な地形を見ることができ、洞穴にカヤックで入るなど貴重な経験もできました。

また、無人の入江に上陸し、参加者自身が火を起こして淹れたコーヒーとケーキを食べる海カフェや、昼食にバーベキューを楽しんでいただきました。

終了後のアンケートでは皆さんが内容に満足と回答しており、大変充実したイベントとなりました。

今後も今回のようなジオパークの魅力を伝えるイベントを継続して開催するとともに、イベントの様子やカヤックといったアクティビティについて情報発信することで、当地へのインバウンドをはじめとする誘客促進につなげていきます。



カヤックで洞穴に入りました。

室戸ユネスコ世界ジオパーク

海と陸が出会い、新しい大地が誕生する最前線

室戸ユネスコ世界ジオパークは四国の東南端、室戸市全域をエリアとしたジオパークです。テーマのとおり、ここは海と陸の間にあって大地が誕生する場所です。

大昔、地震や台風のたびに深い海ではシマシマの地層「タービダイト」が堆積しました。それが海のプレートの沈み込みで陸のプレートに付け加わり、地震のたびに押し上げられて海の上に顔を出しました。それが現在の室戸半島です。

室戸の海岸ではかつて海底にあった証拠がたくさん見つかります。そして近い将来、次の南海地震が起これば、現在の波打ち際にまた新たな大地が誕生することでしょう。また沖合を黒潮が流れるために、室戸の気候は温暖で、アコウに代表される亜熱帯の植物が生育します。室戸岬先端近くには、若き日の空海が修行し、悟りを開いたといわれる海食洞「御蔵洞」があり、お遍路さんが巡礼に訪れます。このような室戸の成り立ちや自然、文化を解説しながら案内してくれるガイド（要予約）もいますので、ぜひ室戸にお越しの際はご利用ください。

このように、室戸ジオパークは地球の動きを感じる場所、人々の暮らしや文化に触れることができる場所です。ぜひ室戸ジオパークにおいていただき、室戸ならではの特別な風景と体験をお楽しみください。



最初にインストラクターから乗り方についてレクチャーを受けました。



カヤックに乗って出発!



無人入江での海カフェ体験、自分で火おこししてお茶を飲みました。



参加者でバーベキューを楽しみました。

室戸ユネスコ世界ジオパークも
見どころがいっぱいだな



〈室戸半島空撮〉新しい大地の誕生を
見られる場所、室戸岬



〈タービダイト〉室戸ジオパークが海底に
あったことを証明する岩石の一つ



〈アコウ〉亜熱帯地域の代表的な植物。
枝を横に広げているのも室戸岬の環境に
理由がある。